

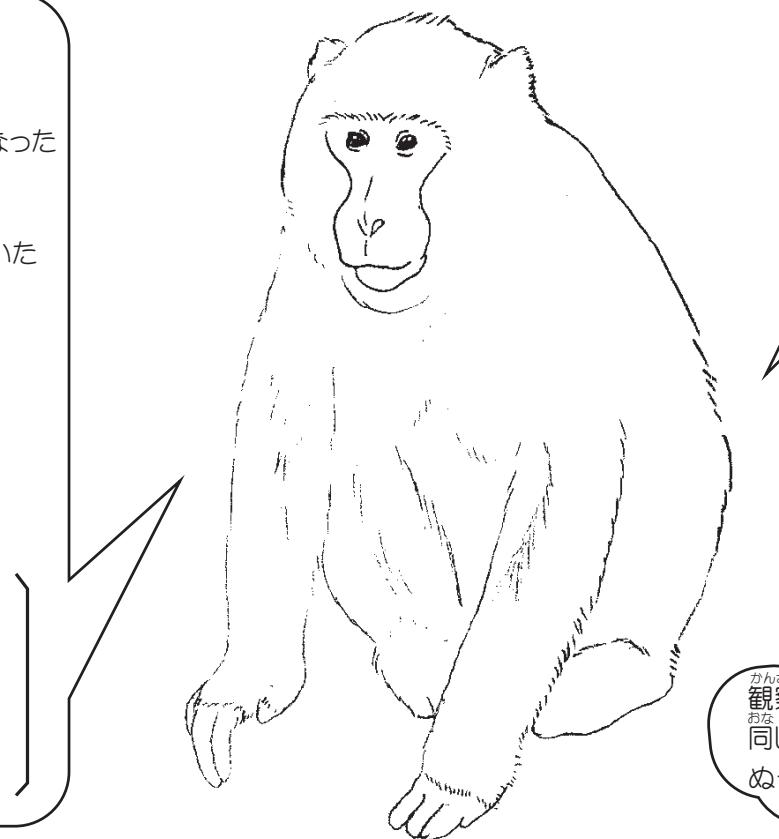
ホンドザルのかんさつシート

お気に入りのホンドザル1頭を見つけて、行動観察をしてみよう。人間とおなじところ、ちがうところはどこ？

行動をかんさつ！

どんなことをしていたかな？

- 見られたものに
○をしよう
- () 毛づくろいをしていた () 仲間にうまのりになった
 - () エサをたべていた () 水にはいっていた
 - () 水をのんでいた () 木をゆすっていた
 - () 目をとじてじっとしていた () 石や草をいじっていた
 - () 仲間とくつついていた
 - () 仲間と追いかけっこをしていた
 - () 4本足で歩いていた
 - () 後ろ2本足で歩いていた
 - () においをかいだ
 - () うんちをしていた
 - () おしっこをしていた
 - () その他



手をかんさつ！

手をどのように使っていたかな？

- () 物をつかむ () 物をつまむ
- () ゆびでほじる
- () たたく
- () なでる
- () 両手で物をはこぶ
- () からだをかく
- () その他

手を上手に使う動物を探そう！

どうぶつ なまえ
動物の名前

- ・どんな手？
スケッチしてみよう。

- ・手を使って何をしていた？

自分と似ているところはどんなところかな？またちがうところは？

学校名

名前

先生用 ホンドザルのかんさつシートと解説

**ワークシートの
ねらい** ホンドザルの行動を観察することを通して、動物への興味・関心を引き出すと共に、人間とのちがいや同じところについて考えるきっかけとする。

ホンドザル 靈長目オナガザル科

・靈長目の中では、最も北に生息しています。ニホンザルのなかで、本州、四国、九州に生息する亜種です。もう1つの亜種には、屋久島に住むヤクザルがいます。

・複数のオスとメスの群れで暮らしています。

・雑食性

主に果実や木の実を食べ、植物の葉や芽、根、花、キノコ、昆虫なども食べます。また、食べた物をほおの袋にためることができます。

・他の動物と大きく違う手と足

前肢（手）は人間と同じ親指と他の4本の指が離れていて、物をつかんだり、つまんだりすることができます。一方、後ろ肢（足）は人間とは異なり、前肢と同じように親指と他の4本の指が離れており、物をつかんだりすることができます。手足の平には、人間と同じように指紋や掌紋があり、木や岩を登るときの滑り止めになっています。



■ 千葉市動物公園のホンドザル

動物公園のホンドザルの展示場には、たくさんの枝やロープがわたしてあります。これは、生息環境と同じような行動を引き出すために入れています。

ここでは、ホンドザルがどんな行動をするのか、観察するのに適しており、仲間同士のコミュニケーションの様子や生活の様子を見ることができます。

■ さまざまな行動

サルの行動は研究が進んでおり、その意味もわかってきています。

【毛づくろい】

毛をつねに清潔に保つために行います。

互いに毛づくろいしあうのは、清潔にすると共に、互いの親密さを増すために行っています。

【石や草をいじっている】

とても手が器用なので、何か遊べる道具を探しています。

小さな小麦などが土にまざっていると、丁寧に土をよけて探し出します。

【くっつきあい（だっこ）】

寒い日など、お互いにくっつきあいます。寒くなくても、2~3頭でくっついてだきあっているところを見かけます。親子や兄弟に限らず、血縁がなくてもくっついていることがあります。

【水にはいる】

夏の暑い日は、よく水の中に入っています。

【木をゆする】

野生では、大きな枝振りのよい枝を捲して、それを思いっきりゆります。これは、葉をごそごそいわせて音を立て、自分の存在を示すためです。

【おいかける】

よく、同時に食べ物をみつけてどちらかがそれを奪うとおいかけっこが始まります。また、何が原因かわからないのですが、大人同士の間でかなりのスピードで追いかけることがあります。

【うまのり】

オスがメスにのるだけではなく、こどものときも、オス同士も「うまのり」をしあいます。互いの順位を確かめるとき、あるいは、遊びの一種として行われています。

他にもいろいろな行動をしています。

自分と比べて観察をしてみてください。

飼育員のコラム 『サルの社会性』

群れは複数の異性からなり、母系集団で、その群れで生まれたオスは、生後3~8年で群れから独立して、別の群れにうつったり、ひとりザルで行動します。

メスは基本的に生まれた群れで一生を過ごします。

群れのまとめりは、おとなのメスたちとその子どもたちの関係によって成り立っています。特定のサルが力に任せて他のサルを従えることはありません。

